

2024年1月の義務化が迫る！

Microsoft365を活用して 電子帳簿保存法改正に対応！



電子帳簿保存法の改正が24年1月に義務化

22年1月に電子帳簿保存法の改正が施行され、2年間の猶予期間の後、24年1月には義務化となります。今回の改正で紙の書類をスキャンしてデータ保存する場合の「タイムスタンプ要件」が大きく変わります。

改正ポイントのメリット、タイムスタンプ要件の緩和とは

タイムスタンプとは、電子データと時刻データをセットで組み合わせることで、データの存在と改ざん等が行われていないことを証明するためのものです。これまで、紙の書類をスキャンして自社ファイルサーバーに保存された電子データには、第三者機関により発行・付与されたタイムスタンプが必須でしたが、今回の改正では、要件を満たした場合、タイムスタンプ自体が不要になるケースがあります。

【緩和要件】

タイムスタンプ情報および修正・削除の履歴をログに残せるシステムであればタイムスタンプの付与が不要

実は身近なクラウドサービスを利用することで、この緩和要件に適應できます！

Microsoft 365

✓ドキュメントにタイムスタンプ情報を保持

✓ドキュメントのバージョン管理機能で更新日時などの履歴の確認

(SharePoint Online・OneDrive for Business) ✓編集、削除などの監査ログ

データ保存により、さまざまな帳簿、書類を管理する電帳法において、履歴をログに残す、監査ログの実行性と管理が大変重要になっています。国税庁が提示している規程にもログの管理について挙げられています。

【スキャナによる電子化保存規程】

第3章 機能要件 三.利用ログ管理

本システムの管理責任者は、ログの情報等を利用して不正なアクセスの防止をすることとする。

※国税庁発行 電子帳簿保存法一問一答【スキャナ保存関係】より

しかし、Microsoft365 監査ログにはこんな課題も…

△90日前までログしか見れない。定期的に出力するのは大変

△ログの内容がわかりにくい

△不正アクセスに気づく仕組みが足りない





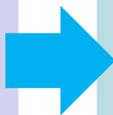
非IT管理者でも扱えるシンプルなファイルアクセスログ管理ツール。
ワンクリックでログ表示、柔軟なアラートで監査における悩みを解決します。

Microsoft365におけるログ管理の課題に対応！

課題① 90日前までログしか見れない、定期的に出力するのは大変

Microsoft365だけだと・・・

通常最大で90日間のログ取得のみのため、長期で管理するには、定期的にログを出力しなければならない。



FileAuditと併用すると・・・

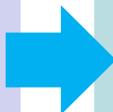
ログ保管期間は無制限のため定期的なログ出力が不要。必要に応じて簡単に出力も可能。



課題② ログの内容がわかりにくい

Microsoft365だけだと・・・

レポート出力の条件設定が大変。また、内容がわかりにくい。



FileAuditと併用すると・・・

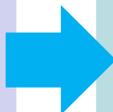
パネル式のUIで直感的な操作を実現。あらかじめ用意されている項目から簡単にレポートを確認することが可能。



課題③ 不正アクセスに気づく仕組みが足りない

Microsoft365だけだと・・・

アラート機能はあるが、自社環境にあったカスタマイズができない。



FileAuditと併用すると・・・

例えば、大量のファイルダウンロードなど疑わしい操作があった際にアラート通知など、様々な条件で柔軟なアラート設定が可能。素早く気づき仕組みを構築し、セキュリティインシデントの被害拡大の抑止に。



参考価格

(年間サブスクリプション形式/保守サービス含む)

100ユーザー	¥343,200
100～500ライセンス	¥561,600

※その他レンジの価格や詳細については別途お問い合わせください。



株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web : <https://www.isdecisions.jp/>

Mail : fileaudit@oceanbridge.jp

